

岡崎民報

13. 3. 31
No. 1142

岡崎市広幡町一の
1
Tel 23の3337
Fax 21の0712
日本共産党岡崎市委員会

岡崎市2013年度予算可決 「市は市民のへらへらを守る防波堤に」

党市議団の予算に対する討論

2013年度国家予算は、財界とアメリカいいなりの政治を完全に復活させる予算となりました。国民のくらしの予算は削減され、デフレ克服どころか促進予算となっています。そして、公共事業とそのため借金を補正予算で増額前倒ししながら、新年度予算だけを切り離してあかかも財政再建に向けて財政規律を保ったかのような粉飾をした予算となっています。

岡崎市の財政は、若干の景気の回復を予測し、また、国の経済対策による、交付金の活用などで、ほぼ前年規模の予算を確保されています。

景気回復の一番の力は、国民一人一人の所得を引き上げ、消費購買力を引き上げること

す。そして、地方政治が、暮らしを守る防波堤となり、市民のくらし福祉優先の政治に切り替えることです。

日本共産党が、三月市議会で行った予算に対する討論の内容を数号にわたり、岡崎民報に掲載していきます。

党市議団の要求実る

住宅耐震化大きく前進

除去費用に補助

耐震性のない住宅の除去費用に補助金が新設されました。耐震診断を行い、耐震の評定が1・0を下回った家屋について、改修をせず、取り壊す時に

取り壊し費用の2/3(上限20万円)を補助します。改築のための取り壊しでも、補助されません。

二段階耐震化工事に補助

耐震工事の平均金額は約240万円で、くらしがたいへんな時に改修工事は後まわしになってしまいます。

より安い金額で耐震度をアップさせるために、二段階式の工事が補助が新たに作られました。

耐震診断の評点が0・4以下の建物を0・7までに引き上げ、その後1・0に引き上げる計画を立てれば、一段階目で上限60万円(設計費含む)二段階目で30万円

地域交流センター南部分館(中島町)文化財保護部分との分離を

悠紀の里整備事業が、平成25年に第1期工事完成、平成27年に第2期工事が完成予定です。平成21年までは文化財保存として、教育委員会の事業でしたが、平成23年から地域交流センターの位置づけになりました。

第1期工事は、悠紀斎田にかかわる資料や大嘗祭に使われる道具などの展示室、収蔵室、歴史を学ぶ研修室、事務室からなります。第2期工事で、ホール、活動室が作られます。

市民活動支援の

市民活動ステーション、

防災活動室設置を

市の説明では、「分館ではあるが、南部の分館の位置づけではなく、全地域交流センターの分館となる」とのこと。地域交流センターは、市民活動支援のために作られてきました。市民活動ステーション、防災活動室、キッズルームなどは市民からの提案で作られてきました。

ところが、この分館には、活動ステーションや防災活動室が

ありません。

市民が下駄履きで集まれる施設は必要です、「第一期分は、地域交流センターではなく、社会教育課の管理として、切り離すべき」と議案に反対しました。

必要などころに

分館を検討

「東部、北部、額田、中央など、地元の要望で分館を建設するか」との党市議団の質問に当局は「検討する」と答弁しました。

政教分離を明確に

また、悠紀斎田で行われる大嘗祭は、天皇の献上米の田植えの儀式で、宗教行事です。これまで、岡崎市では宗教にかかわる資料や器財を公共の施設で保管展示することはありませんでした。

の補助がつかず。一段階目の平均的な工事費は150万円ですから、約100万円で工事ができる場合があります。(上記図)

しかし、それでも高額です。寝室や居間の一部分だけを補強するシェルターへの補助も要求しました。

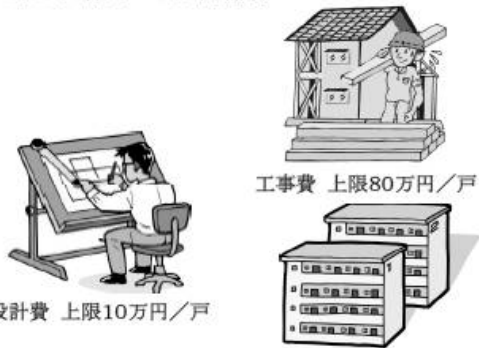
室内耐震シェルター



基本構造躯体イメージ図
企業ホームページから

住宅(木造・非木造)耐震改修費補助

戸建住宅のほかアパート・マンション(非木造)も1戸当たり最大90万円補助



工事費 上限80万円/戸

設計費 上限10万円/戸

地域交流センター六ツ美分館整備完成イメージ



食品放射線計測器

グレードアップされます

平成 23 年、岡崎市は、食品の放射能計測器を購入しました。しかし、その後の国の基準が引き下げられ、食品で100ベクレル、牛乳や水などは50ベクレル以下となり、この計測器では測定できませんでした。

日本共産党は、給食の心配をするお母さん達の声を受けて昨年9月議会で「さらに精度の高い計測器の購入」を要求しました。

平成 25 年度の予算で、ガンマ線の強さで核種（たとえばセシウムとカリウム）などを識別できる測定器を購入します。540万円（1/2が国庫補助）の予定です。

現在、給食の食材については、今年から野菜などを単品で月2回、給食まるごとを月2回測定しています。結果は「基準を超過しているか、いないか」だけです。ホームページに数値も公表すべきと求めました。

これまでは、当日入荷の魚（加工済み）が調べられていませんでした。日本共産党の「高い濃度の放射線が魚から検出されている。魚を単品で調べるべき」という質問に対して、「今後魚も単品で検査していく」と答えました。



党県くらし環境部長

もとむら伸子 ニコ動画に生出演

小池晃副委員長、井上哲士参院議員、とともににこにこ動画の「生放送！とことん共産党」に出演しました。テーマは「原発再稼働」問題。ぜひ、にこにこ動画に登録の上、ネットでご覧下さい。

安倍首相は国会で「安全が確認された原発は再稼働します」といって、原子力規制委員会が7月に策定する「新安全基準」をテコに再稼働を強行しようとしています。この間国会で何度もこの問題を迫りしてきた井上哲士参院議員、愛知県の党原発ゼロ対策部長のもとむら伸子さんをゲストにむかえ、福島第一原発事故の現状や再稼働の問題点について取り上げあげています。

翔南中学校 4月8日開校 木の香る教室、屋上プール

翔南中学校（針崎町）が4月8日、いよいよ開校となります。岡崎市立の20番目の中学校となり、これによって千人を超える南中学校のマンモス校が解消されます。

南中学校生徒の内、約五百人が翔南中学校区域になります。

翔南中学校の特徴

- 環境に配慮・・・太陽光発電、風の通り抜ける玄関
- 屋上プール・・・係もあり、武道場の屋上にプールがあります。



● 岡崎産材を利用した教室・・・今までのコンクリートン雰囲気とまったく違います。ただし、板を張り付けただけなので、木造とはちがいます。



● オープンな職員室
玄関のすぐ右わきに配置されました。しかし定員が30名分しかありません。非常勤の先生はどこに？

● ベランダの掃き出し

南側は腰のあるまどではなく、掃き出しのガラス戸になり、風通しが良くなりますが、どこからでもベランダに出られるので落下事故に注意。

● 広い踊り場

合唱の練習が行えると最高ですが、残念ながら天井が低く、音が響くので不可・・・とか。もったいない

● 制服（女子3万6800円 男子3万3900円

夏と冬）ちよつと高額ですね。その上に、体育服が1万3330円、体育館シューズや上履き、バックなど含めると、4万7千円ほどかかります。

2～3年生は、今まで南中で私用して、体操服は使用できません



● 部活動

人数が減る分、南中も部に活動があります。特に団体競技や文化部が減少します。

岡崎市日本共産党後援会 主催

あ花見



4月7日(日)午前11時～

参加費 1000円 (弁当不要の場合は300円)

場所:伊賀川坂谷橋南

坂谷橋と竹千代橋の間の河川敷 (雨天の場合は、ひろ清水)

ご予約は: 23-3337 まで
昼食が必要な方は、必ずご連絡ください